



104

お元気ですか? 小田啓二でした

（今、伝えたいこと）

皆様こんにちは、お元気ですか。日ごろから活動の推進にご尽力いただきありがとうございます。

先日、GA創設者カーティス・スリワのテレビインタビュー番組を見て、活動の原点に触れたように思いました。

「あなたの人生で一番誇りに思うことは？」という問いに、しばらく考えてから「ガーディアン・エンジェルズが、タイムズ・スクエア（ニューヨーク市の繁華街）を数メートルずつ犯罪者から取り戻したことです。」と答えたのです。ラジオでも有名なパソナリテイであり、三十年間にも及ぶGA代表者の言葉でした。

カーティスと、ニューヨークで行動を共にする機会が多いので観察すると、歩きながら足元にペットボトルが落ちていたら拾ってゴミ箱に捨てるという光景をよく目にします。カーティスからは、良心に従った行動がひいては良き変化をもたらすと、経験した者だけが発する自信を感じます。良き変化は誰もが望むことですが、なかなか行動に移せないのが現実です。まず自分の周りで行うことを行う。一九八〇年代に「ブロック」と治安を取り戻していったように、小さな行動を続け大きな良き変化につなげる。ニューヨークの成果が実証されています。

「ガーディアン・エンジェル」は「守護天使、助けてくれる人」と訳されますが、今の社会情勢では助けてくれる人が本当にいないのだからかと不安に感じています。



今日の社会情勢では助けてくれる人が本当にいないのだからかと不安に感じています。

助けてくれる人、すなわち「GAがここにいない」ともつとアピールできるのではないのでしょうか。カーティスは、私たちが「ガーディアン・エンジェル」と呼びます。活動に参加するメンバー全員が「守護天使」なのです。

本年度は、麻薬撲滅キャンペーンを引き続き行います。また手取り早く現金が得られるひたつくりなど街頭犯罪の増加、初犯少年非行の増加のため、さらに声かけを中心とした街頭活動、子どもの安全確保のため安全セミナーを強化します。現在、ワークブック形式の小冊子三万冊を作成中です。また、十一月には東京都と共に児童虐待予防キャンペーンを予定しています。

新型インフルエンザが大流行中、手洗いやうがいなどの予防対策を励行するなど、自分の身は自分で守りましょう。

石黒邦男先生

HOW DO YOU FEEL?
〜エンジェル・オブ・ザ・イヤーを
受賞して〜

「パトロールなどの活動をしていない私が？」というのが受賞を聞いたときの第一声だった。続いている言葉が「監事が貰ったやつていいのかい」で、同時に楽しい気分になった。普通ならここは「嬉しい」という表現になるところだが、楽しい気持ちになつたのだ。今、この原稿を書きながら「なぜあのとき『嬉しい』ではなく『楽しい』だつたのだから」と改めて考えている。



次々に表彰が進みエンジェル・オブ・ザ・イヤーで最高潮を迎える。会場は盛り上がり、受賞者は感極まる感動的な場面であり、「ああ、この人たちと付き合っていてよかった」と思える場面なのだ。私は、この場面では拍手をして祝う側であつて受賞する側ではないから、嬉しいという気持ちとは違ふ。会場の空気が「楽しい成分」で満たされるから、同じ空気を吸うことで満場の楽しさになるのだと気がついた。目的を一つにする集団は同じ空気を呼吸しているから活動が楽しくできるのだと思う。メンバー一人ひとり、育つた環境も違えば性格も違ふ。違ふのだけれど活動が楽しい「集まると楽しい」という共通した気持ちがある。一人ひとりの呼吸は、職場の鬱憤や不満も混じって吐き出されるのだから「楽しい成分」の多い空気を呼吸することで、鬱憤やら不満の成分はかなり薄まってしまふ。楽しい場になるに違いない。私が楽しい気分になつたのは、そうした場面を想つたからだろう。「きつとそうだ」。

アメリカで始まつたガーディアン・エンジェルズが日本に根づいて十数年になる。その活動はかなり日本式になつてきていると思う。インターネット犯罪防止や通報、小学校や児童館などで行う児童対象の安全セミナー、落書き消しなどの地域活動、警察などの地域防犯キャンペーンに常連参加するなど、まさに日本の活動であり、それが社会的にも大きく評価されている。アメリカでの草創期には「ならみ」を利かせたイカツイ集団」がパトロールをしていてというイメージが強く、日本でも初期のころは、同じような写真が新聞、雑誌に大きく紹介されたのでその印象が濃いのだが、パトロールでは繁華街にたむろする若者たちに「こんばんは」と声をかけながら帰宅をうながしたり、違法チラシを剥したりという地道な活動で「ならみ」を利かせたイカツイ集団」から脱皮を重ねたように見える。



前 監事 石黒 邦男



104

第30号 2009年10月4日

第二回 私のベレー帽

私の正体は……

ガーディアン・エンジェルスを象徴するベレー帽。今回はそのベレー帽のしっぽ(紐)にこだわりを持つメンバーにお話を伺いました。

サライ (理事 久米きよ子部長)

実は私の正体は狸です。先祖代々、久留米市の南側に連なる耳納連山に住んでいましたが、二〇年前のバブル時代に丘陵地帯が開発造成されて私たちの住処がなくなりました。人間たちの都合で自然が破壊され、いろんな動物たちが住処を追われました。私たちがや狐は人間に化けることが出来るので人間社会に同化出来ましたが、他の動物たちは死ぬしかありませんでした。

話は本題に入りますが、人間を永くやっておりますとフサフサのしっぽが邪魔になり、いつも折り畳んでパンツの中に入れていたのですが、いつの間にか退化して、小さく小さくなってしまい、ついに1年前にポロツと取れちゃいました。私もこれで名実共に人間になれた証拠だと思つて、なんか嬉しいやら寂しいやら：考えてみればしっぽと言えども私の身体一部には違わず、古狸の誇りの象徴としてベレーに取り付けた次第です。そういう訳で今後ともサライ狸をよろしくお願い致します。



ベレー帽には刺繍で「SARAI」の文字



フオクス (渋谷支部 副支部長)

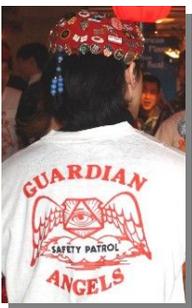
渋谷支部のメンバーは全員、ベレー帽の紐に「青いビーズ」を六つつけています。始まりは十年前の一九九九年頃、当時のリーダーの一声でした。それ以来、渋谷支部のイメージカラーは「青」となり、ベレー帽のビーズ以外でも、今ではお馴染み渋谷支部キム軍パンのブルータイガーカモパンツなどにも「青」は継承されています。

なぜつけているのかという理由は様々ですが、他支部への遠征やイベントで、多くのGAメンバーが集まったとき、ひと目で渋谷支部のメンバーと分かるように、そしてそのことによつて渋谷支部の一員として誇りと結束を高め、渋谷支部メンバーとしてGA全体を盛り上げていくぞ！という思いを込めています。

「私のベレー帽」というよりは「私たちのベレー帽」となつてしまいましたね。しかしながら、それだけ所属支部にプライドを持つて活動しているということですから。渋谷は流行の発信地、渋谷支部もGA全体も常にかっこよくなければ！そんな思いを胸に私たちはGAを象徴する赤い「ベレー帽」にあえてこだわりを持ち、活動しています。



中には青が白になってしまうほど年季の入つたものまで



六つの青いビーズ 色んな思いがこもっています (ドレスベレーにはプラス2個)

メンバー募集！！



16歳以上(未成年者は保護者の承諾が必要)以上の条件を満たしていれば、国籍・老若・男女・学歴・職業に関係なく、どなたでも参加できます。メンバーになるために必要な条件は、腕力でも知力でもなく「人のために何かしたい」という献身の姿勢だけです。詳しくはホームページもしくは事務局までお問い合わせ下さい。

おかげさまで・・・

日本ガーディアン・エンジェルスは、平成21年2月11日に国際本部認定13周年、平成21年4月19日にはNPO法人認証10周年を迎えました。これもひとえに、皆様のご支援、ご協力の賜物であると厚く御礼申し上げます。これからも「DARE TO CARE」の精神で活動に邁進してまいりますので、何卒よろしく願いいたします。 **DARE TO CARE**

ご寄附のお願い

日本ガーディアン・エンジェルスでは、「より良い地域社会をつくりたい」と考える個人・団体からのご寄附を募っております。青少年の非行防止、犯罪防止パトロール、安全教育を行っているガーディアン・エンジェルの活動に、市民の皆様からのご理解とご支援をお願いします。

お振込先は以下の通りです。ご協力の程よろしく願います。尚、お振込みの際には、事前にお名前とご住所をご連絡いただければ幸いです。

郵便振替口座 00130-9-549237

または
三菱東京UFJ銀行 赤坂支店 普通預金 5190124

口座名義 特定非営利活動法人
日本ガーディアン・エンジェルス



日本ガーディアン・エンジェルスは、国税庁から認定NPO法人(国税庁課法11-90)として認定されています。寄附金は、寄附金控除等の対象になります。

GAグッズ販売コーナー

プラスチックホイッスル

メンバー価格 ... **500円**

色 ... 黒 赤 白



シルバーホイッスル(紐付き)

メンバー価格 ... **1,500円**



FIFAワールドカップで公式ホイッスルに採用された実績のある野田鶴声社特製ホイッスル!数に限りがありますので、是非この機会に!!

ご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい。